

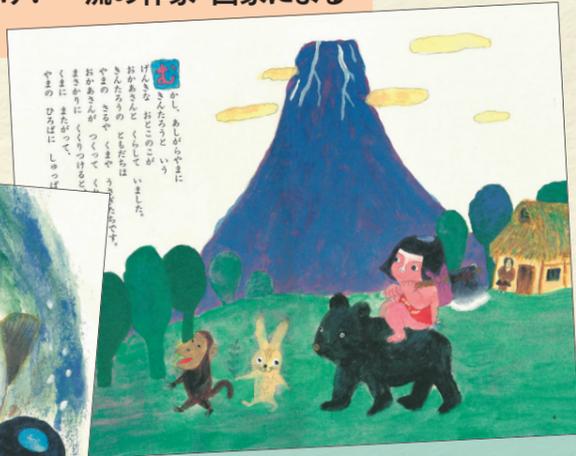
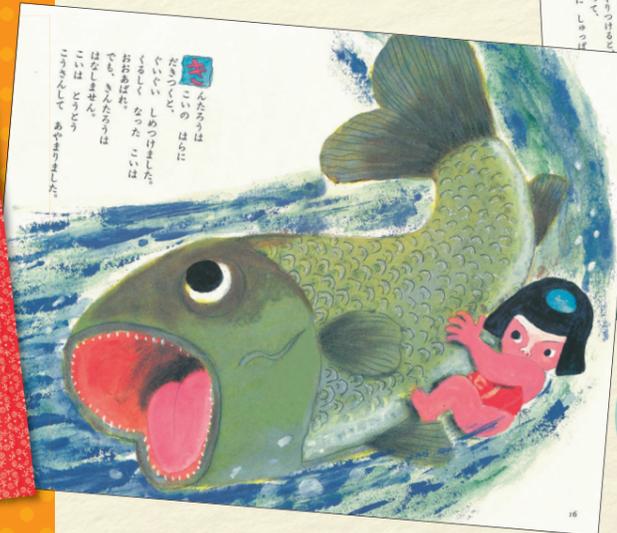
定価450円 本体417円  
32ページ

日本の心を伝える

# ワンダー民話選

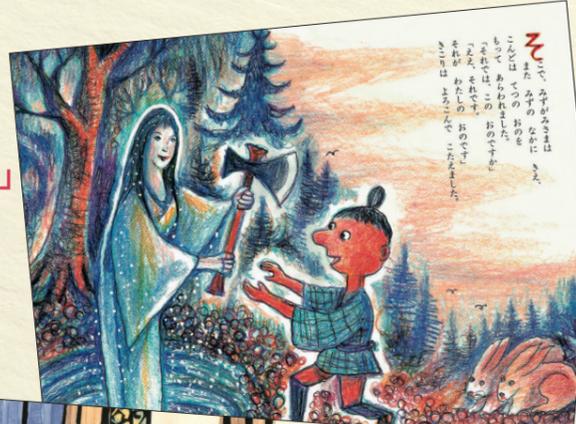
定番のロングセラー絵本をお届け！一流の作家・画家による  
珠玉の作品が12タイトル！

4月号 「きんたろう」



子どもたちに語り継ぎたい  
日本の昔話を  
ハンディーで上質な上製本で  
お届けします。

6月号 「きんのおの」



9月号 「へっぴりよめご」



3月号 「ねずみのよめいり」

4月 きんたろう  
文/常光 徹 絵/花之内雅吉



足柄山に住む金太郎は、動物たちと相撲をとり続ける日々。あるとき、殿様から「悪い鬼を退治してほしい」というお触れが出たので、金太郎は鬼退治に出かけました。

5月 したきりすずめ  
文/木暮正夫 絵/村上 豊



おばあさんの作ったノリを食べて、舌を切られてしまったすずめ。おじいさんがすずめを探しに山へ出かけるので、すずめがご馳走を用意して歓迎してくれます。

6月 きんのおの  
文/剣持弘子 絵/スズキコージ



正直なきこりが淵に落とされた斧を、水神様が探してくれました。それは金の斧？それとも銀の斧？うそをつかないことの大切さを教えてくれるお話。

7月 うみのみずはなぜからい  
文/谷 真介 絵/二俣英五郎



貧しい村で暮らすたろうは、釣り上げた鯛を引き換えに、欲しい物が何でも出てくる不思議な石臼を手に入れます。海の水が塩辛い理由にまつわる説話です。

8月 かちかちやま  
文/水谷章三 絵/村上 勉



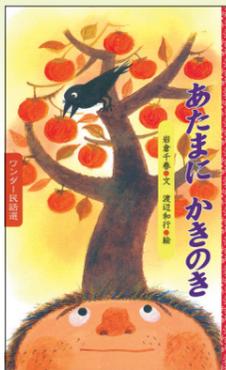
畑を荒らす悪いたぬきをやつつけようと、うさぎが大活躍。火や唐辛子でさんさんたぬきを痛めつけて、最後は泥舟に乗せます。五大昔話の一つとして有名なお話です。

9月 へっぴりよめご  
文/剣持弘子 絵/赤坂三好



おならで何でも吹き飛ばしてしまうお嫁さん。おならが役に立つことがわかり、実家に戻されずにおむこことになって…。思わず笑ってしまうお話。

10月 あたまにかきのき  
文/岩倉千春 絵/渡辺和行



落語でも有名なお話。頭に柿の木が生えてきたものくさな男が、柿の実を売りにいく奇想天外なお話。おちからで楽しい世界を描いています。

11月 ぶんぶくちやがま  
文/望月正子 絵/二俣英五郎



正直な古道具屋のおじいさんに救われた子だぬきが、恩返しにと茶釜に化けて、みんなの人気者になります。元氣いっぱいの楽しいお話です。

12月 ゆきおんな  
文/櫻井美紀 絵/黒井 健



吹雪の夜に出会った白い女は、きこりたちの顔に白い息を吹きかけました。雪を美しいと思う気持ちと、恐れる気持ちが生み出したお話。

1月 いっきゅうさんのとんちばなし  
文/岡本一郎 絵/塩田守男



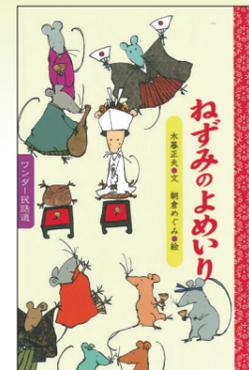
「橋を渡るな」という立て札に、町の人々が困っていると…。さまざまな難題を、一休さんが「こんち」の力で解決していく。ユーモアたっぷりのお話。

2月 おにはそとふくはうち  
文/常光 徹 絵/梶山俊夫



無理やり鬼の嫁にさせられたふくという名の娘と、ふくを取り戻そうと鬼の住処へ行く爺のお話。節分の豆まきの由来話です。

3月 ねずみのよめいり  
文/木暮正夫 絵/朝倉めぐみ



大事な娘の結婚相手を探すねずみの名主どんが最後に見つけたのは、いったい誰でしょう。身近な幸せに気づく、心温まるお話です。